

飛躍を誓って〜令和8年新春の集い〜

1月9日(金)、ジョイ・じょうらにおいて新年を迎え祝う『新春の集い』が開催され、町内外から135名が参加しました。

当日は、町長および来賓による挨拶のほか、上ノ国高校の生徒が制作した町のPR動画が披露され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

町長の挨拶では、昨年10月1日に町内で初めて導入されたAIデマンドバス「カミGO!」の運行開始や、それに伴う江差小砂子線の廃止、ヒグマ被害に対する町を挙げた取り組みなど、これまでの主な出来事が振り返られました。あわせて、午年を迎えた本年にあ



たり、人口減少に伴う過疎化が現実的な課題となる中、これまでの施策を見直し、将来を見据えた新たな政策を推進していく必要性が強調されました。具体的には、洋上風力発電事業を軸とした取り組みをはじめ、空き家の活用などを通じた地域の活性化に取り組んでいく考えが示されました。

また、歓談の時間には、今後のまちづくりや地域の活性化について話題が広がり、新たな思いを胸にそれぞれの飛躍を願いながら、参加者同士の交流を深めるひとときとなりました。

寒さに負けず! 思いのこもった100本突き

1月11日(日)、上ノ国空手道スポーツ少年団による恒例の寒稽古が、上ノ国八幡宮で行われました。

この寒稽古は、新年の稽古始めに先立ち、無病息災や大会での勝利を祈願し、心身を鍛えることを目的に毎年実施されています。

当日は、厳しい冬の空気の中、道着姿の団員約30名が集まり、気合のこもった声とともに「その場突き」100本に挑戦しました。

団員たちは最後まで集中力を保ち、新年の決意を胸に刻む貴重な稽古となりました。



高校生ボランティア参加 世代間交流で楽しく介護予防

上ノ国高校のボランティア局が冬休みを活用し、社会福祉協議会が実施する介護予防教室「いきいき教室」に参加しました。

本取り組みは今回で2期目となり、高齢者の心身の活性化や生きがいづくり、学生の人間関係の広がりなど、双方にとって有意義な活動となっています。

当日は、書き初めやモルックなどのレクリエーションを通じて交流を深め、笑顔あふれる時間となりました。別れ際には「また来てね」と声が掛けられ、世代間交流の温かさを感じるひとときとなりました。

